

文化財鑑賞に行ってきました！



11月1日（金）毎年恒例となる文化財鑑賞の日。今回は、日田の小鹿田焼の里、咸宜園、豆田町に行ってきました。

<小鹿田焼と唐臼>

国の重要無形文化財に指定されている小鹿田焼。日田の皿山で焼かれる焼き物です。10軒の窯元に一子相伝で伝承される技。そして、「日本の音風景100選」にも選ばれている唐臼は、川の流れを利用して、ししおどしのように陶芸用の土を砕くものです。空気や音を全身で感じながら、この風景をスケッチしました。



<咸宜園と豆田町>

「みなよろし」の意味をもつ咸宜園。広瀬淡窓が創立した私塾です。「どんな身分でも、男女を問わず受け入れる」という当時の知における精神とその家屋を見学しました。また、豆田町では、九州の要として天領となった日田の町並みを歩きました。まるでタイムスリップしたような美しい通りでした。

